

令和5年 第8回教育委員会定例会議 会議録

1 日 時 令和5年8月22日(火)

開会 16時00分

閉会 16時30分

2 会 場 金沢市役所 第二本庁舎 2階 2201会議室

3 出席委員(6名)

教 育 長 野 口 弘

教 育 委 員 田 邊 俊 治

〃 大 島 淳 光

〃 木 村 陽 子

〃 長 澤 裕 子

〃 櫻 吉 啓 介

4 欠席委員(1名)

教 育 委 員 丸 山 章 子

事務局

教育次長

担当次長(兼)教育総務課長

教育総務課担当課長(兼)課長補佐

担当次長(兼)学校職員課長

学校職員課担当課長・管理主事(兼)課長補佐

担当次長(兼)学校指導課長

学校指導課担当課長(兼)課長補佐

市立工業高校事務局長

生涯学習課長

図書館総務課長

(兼)玉川図書館長

(兼)玉川図書館近世史料館長

(兼)玉川図書館城北分館長

教育プラザ総括施設長

(併)こども相談センター長

学校教育センター所長

上 寺 武 志

堀 場 喜一郎

寺 末 哲 也

地 下 雅 志

外 川 奨

貞 廣 賢 了

小 川 隆 庸

長谷川 智 朗

村 田 昌 人

安 江 貴 子

今 寺 誠

熊 谷 有紀子

5 案 件

非 議案第27号 金沢市立小学校及び中学校通学区域審議会委員の委嘱等について

(教育総務課)

非 議案第28号 令和5年度金沢市議会9月定例月議会提出予定案件について

(教育総務課他)

報告第22号 令和5年度全国学力・学習状況調査及び石川県基礎学力調査の結果について

(学校指導課)

そ の 他

(1) 次回の定例会議の日程について

6 議事の経過等 以下のとおり

野口教育長の開議あいさつの後、金沢市のインターンシップ受け入れにより、8名の大学生の傍聴があることを伝えた。続いて、傍聴希望者4名について協議し、傍聴を許可した。次に、会議録署名委員に木村委員を指名した。本日の議題について、野口教育長が議案第27号、議案第28号を非公開とするよう発議し、全会一致で非公開とすることを決定した。

審議に入り、報告第22号について説明・質疑応答が行われ、原案どおり承認した。また、9月の定例会議の開催日を次のとおり決定した。最後に議案第27号、議案第28号について非公開で審議に入り、原案どおり承認し、閉会した。

* 9月の定例会議の日程：令和5年9月20日（火）13：30～

[案件の説明及び諸報告について]

案件について、別添資料等に基づき事務局より説明・報告し、原案どおり承認された。

[主な質疑・応答の内容について]

○ 報告第22号 令和5年度全国学力・学習状況調査及び石川県基礎学力調査の結果について（学校指導課）

（説明の概要）議案書6ページ。全国学力・学習状況調査は、小学校第6学年と中学校第3学年の全児童生徒を対象に4月18日に行われた。調査内容としては、教科に関する調査は国語、算数・数学に加え、4年ぶりに中学校・英語が実施された。

各教科の平均正答率は資料に示したとおり、国との比較では小・中学校の全ての実施教科において3～7ポイント上回る結果となった。また、石川県との比較では、中学校の数学、英語においてやや上回り、その他の調査においては同程度となっている。おおむね良好な状況と捉えている。設問別の分析は今年度も例年どおり市教委で行い、報告書としてまとめ、授業改善等に生かしていきたいと思っている。

「3 質問紙調査の結果概要」には、児童生徒質問紙の中から本市の教育施策に関する内容や新規に追加された質問等について抜粋したものを示した。

「(1) 学習指導に関する質問」では、1の「課題の解決に向けた主体的な学び」や2の「学んだことを生かしながら自分の考えをまとめる活動」に関する質問で、金沢型学習スタイルの導入部分や終末段階の指導の成果を見て取ることができる。また4の「個に応じた指導の充実」についても肯定的な回答の割合が全国平均を上回っており、おおむね良い状況であると捉えている。

「(2) ICT機器の活用に関する質問」では、特に中学校において、1の「授業でのICT機器の活用頻度」の設問で全国平均を大きく上回っており、取り組みの成果が見られてはいる。ただ国は、1人1台学習用端末を授業でほぼ毎日活用している学校の割合について、2026年度100%達成を目指しており、改善の余地があると捉えている。3の「授業時間以外のICT機器の活用」についても、全国平均と同程度ではあるものの、活用している割合が低いと、家庭学習での1人1台学習用端末の活用も含めて促進していく必要があると捉えている。

「(3) 英語に関する質問」では、3の「即興的に自分の考えや気持ちを英語で伝え合う活動の設定」については全国平均を大きく上回っており、平成16年よりコミュニケーション能力の育成に向けて小中一貫英語教育に取り組んできた成果であると捉えている。

「(4) 地域との関わりや幸福感等に関する質問」では、1の「地域の行事に参加している」、2の「地域社会に貢献したい」という項目に対する肯定的な回答の割合が、特に小学校で全国平均を大きく上回る結果となっており、金沢SDGs教育に取り組んできた成果であると捉えてい

る。

続いて、石川県基礎学力調査について報告する。石川県基礎学力調査は小学校第4学年、第6学年、中学校第3学年の全児童生徒を対象に4月17日に行われた。各教科の平均正答率は抽出学級の数字となる。各教科の平均正答率は、県と比較して小学4年の国語でやや下回ったが、小学4年の算数、小学6年の社会、理科、英語、中学3年の社会、理科で同程度となっている。

これらの調査結果は校長会議、また学力向上担当者連絡会でお知らせし、2学期以降、重点的に行う取り組みを具体化するなど、各学校の実情に即した改善策を立て、それらを実践するよう学校訪問等を通して指導していきたい。

櫻吉委員

「(2) ICT機器の活用に関する質問」について、3に自宅での利用に関する質問がありますが、タブレットは基本的に毎日自宅に持ち帰っているのでしょうか。それから、1時間以上ということは、そもそも1時間以上勉強する子しかこの中に入っていないと思うのですが、1時間以上勉強する子はどのくらいいるのかという質問はしているのでしょうか。

貞廣学校指導課長

1人1台学習用端末を毎日持ち帰るかどうかは、学校の実情や子どもの実態に応じて学校で判断していると思います。ただ、私たちとしては、家庭学習でも使えるように持ち帰りを勧めているのが現状です。家庭学習を1時間以上しているかどうかに関しては、「学校の授業時間以外に普段1日当たりどれくらいの時間勉強していますか」という問いがあり、本市は全国より4%ほど低い状況となっています。

櫻吉委員

家庭学習の時間はどのくらい分かりますか。

貞廣学校指導課長

この点についてはまだ分析が終わってなくて、今のところは1日当たりどれくらいの時間勉強しているかという割合でしか見ていないので、この後しっかりと見たいと思います。

櫻吉委員

そうすると結局、先ほども言ったように1時間以上勉強していないとこのパーセンテージには上がってこないと思うのです。その分析をしていただければと思います。

貞廣学校指導課長

おっしゃるとおり、子どもたちが1日にどのくらい家で勉強しているのかという時間と、タブレットを1日当たりどれくらい使っているかという時間の相関関係をしっかりと見た上で、学校に指導していきたいと思っています。

田邊委員

今回の調査については、去年も同じように行ったのですよね。教科が新たに加わり、またコロナの影響もあったとは思いますが、説明のあったような成果が出せたことは良かったと思います。

質問紙についてもいろいろな観点から分析して改善に活かしていく必要があると思うのですが、最後の項目、地域との関わりについての質問項目で、どういう答え方をされているのかと思うような質問があります。「普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか」という質問があって、パーセントが出ています。でも、これは何を尋ねていて、選択肢がある中でこういう答えになったのか、質問の狙いと結果がなかなか読み取れないような項目のように感じたのですが、もう少し説明いただけないでしょうか。

貞廣学校指導課長	この質問は今年度初めて入れられたものなのですが、「ある」「どちらかといえばある」「どちらかといえばない」「ない」「その他」の選択肢になっています。
田邊委員	全国平均と比べて同程度の結果ということで、了解します。 もう一点、英語については4年ごとということで今回実施されています。例えば「英語の勉強は大切だと思いますか」という質問項目がありますが、前回4年前と比べてどうだったのかをぜひ分析してほしいと思います。この間で、特に小学校は教科として導入されたという経緯がありますから、教科として取り組むようになった効果がどれだけあったか、特に小学生にあってはどのような状況なのか、興味深い点です。でも、小学校の質問は割愛されているものが幾つかありますよね。そのあたりも前回と比較してどうだったのか、ぜひ分析していただきたいと思います。
貞廣学校指導課長	田邊委員が言われたように、4年前と比べてどうだったのか、また小学校でも英語の調査が入りましたので、子どもたちの質問紙等を分析して今後の教育活動に生かしていきたいと思います。
木村委員	質問紙調査は全て、今おっしゃったような選択肢による評価の結果なのですか。
貞廣学校指導課長	質問によっては時間の設定をしているところもあります。おおむね「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」、「どちらかといえば当てはまらない」「当てはまらない」という選択肢になりますが、中には少し細かく尋ねるものもあります。詳細については例年冊子としてまとめておりますので、またその冊子を配布したいと思います。
木村委員	金沢の子どもたちは、全国平均から見るとほとんどプラスで優秀ですね。「(4) 地域との関わりや幸福感等に関する質問」で、地域の行事に参加している割合が42%と半分以下なので低いと思うのですが、全国平均と比べると上回っているので、中学生はそうしたことにあまり興味がないのかなという感想を持ちました。それから、「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか」「友達関係に満足していますか」という質問のパーセンテージが非常に高いので、いじめにつながりにくいという観点からも、こうした数字が出ていることは安心する一面もあります。
貞廣学校指導課長	これまで金沢「絆」教育等を進めてきたこともありますし、金沢ふるさと学習で中学3年生を対象に、金沢のまちに誇りと愛着を持てるような教育活動をしてきたことも一つの成果ではないかと捉えていますが、各学校によってはその点について課題も見られますので、しっかりと分析した上で今後の教育活動等に生かしていきたいと考えています。
野口教育長	子どもたちは休みの日も結構忙しく、様々な習い事があったり、活動があったりして時間を割くことが難しい状況もあるということがこの数字に反映されている気もします。各学校とデータを共有して、できるだけ参加するようにしたいと思います。
長澤委員	「(2) ICT機器の活用に関する質問」の3番に関してなのですが、

I C T機器を勉強のために1時間以上使っているかどうかという質問の仕方は答えづらいのではないかという印象を持っています。というのも、I C T機器を勉強のために使う場合、例えば教科書を見ながら、そこからQ Rコードを読み取って関連するものを視聴したり、自分が興味を湧いたものについてI C T機器を使うのであって、これからI C T機器を使いましょうという姿勢の中で勉強を始めるわけではないと思うのです。そういう意味では、どれだけ使ったかという時間で測るよりも、授業や勉強、宿題といった学習の中に関連して使うことができた頻度であったり、使い方がより充実しているかどうかという視点での聞き取りを考えてみてもいいのかなと思いました。

以 上

会 議 録 署 名

教 育 長 _____ 署 名 _____

教 育 委 員 _____ 署 名 _____

(木村委員)

[非公開議案の審議結果について]

○ 議案第 27 号 金沢市立小学校及び中学校通学区域審議会委員の委嘱について（教育総務課）

金沢市立小学校及び中学校通学区域審議会委員の委嘱等について

金沢市立小学校及び中学校通学区域審議会設置条例第 3 条の規定により、次のとおり金沢市立小学校及び中学校通学区域審議会委員を委嘱及び任命します。

1 委員の委嘱及び任命

区 分	氏 名	所属団体・機関及び役職	備考
住民自治 組織代表	中 川 一 成	金沢市町会連合会会長	再任
	上 田 久美子	金沢市校下婦人会連絡協議会副会長	新任
学校長	森 裕 之	金沢市立木曳野小学校校長	再任
	中 村 健 一	金沢市立大徳中学校校長	再任
教育関係 団体代表	相 羽 大 輔	金沢市 P T A 協議会会長	再任
	松 川 千 絵	金沢市 P T A 協議会副会長	再任
知識経験を 有する者	竹 上 勉	金沢市公民館連合会会長	再任
	俵 希 實	北陸学院大学教授	再任

2 任期

令和 5 年 8 月 23 日から令和 7 年 8 月 22 日まで（2 年）

3 理由

任期満了に伴う新たな委嘱及び任命

○ 議案第 28 号 令和 5 年度金沢市議会 9 月定例会議会提出予定案件について（教育総務課他）

審議結果についても非公開

以 上